

文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成24年12月10日(月)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時53分
(休憩 11時07分～11時11分)
- 4 閉会時刻 午前11時41分
- 5 出席者 委員長 豊田 勝義 副委員長 草賀 章吉
委員 堀内 武治 委 員 佐藤 博俊
" 水野 薫 " 山崎 恵司
" 川瀬 守弘 " 山本 行男
- 当局側 浅井教育長、水野教育次長、松浦病院事務局長、
齋藤健康福祉部長、所管課長
事務局 議事調査係 佐藤

6 審査事項

- ・議案第82号 平成24年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第3款 民生費
第4款 衛生費(第1項)
第10款 教育費
- ・議案第83号 平成24年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第84号 平成24年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第85号 平成24年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第95号 掛川市立保育所条例の一部改正について
- ・議案第96号 掛川市立学校設置条例の一部改正について
- ・閉会中継続調査申し出事項について 6項目
- ・その他 小笠老人ホーム指定管理者候補者選定について

7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成24年12月10日

市議会議長 大石 與志 登 様

文教厚生委員長 豊田 勝義

(別紙)

7 会議の概要

[9:53~11:41]

平成24年12月10日(月)午前9時53分から、第2委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局(教育長)あいさつ

3) 付託案件審査

①議案第82号 平成24年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第3款 民生費

第4款 衛生費(第1項)

第10款 教育費

[健康福祉部長:人件費等概要説明 9:56~9:58]

[質疑]

なし

第3款 民生費

[福祉課、説明 9:59~10:04]

[質疑 10:04~10:09]

○佐藤博俊委員

54ページの生活保護費について、何世帯あるか伺う。

●柴田福祉課長

10月末現在の県報告が最新だが、世帯で218世帯、人員で268人、保護率は0.23%。10月からパーミルという単位がパーセントに変更になった。

○水野薫委員

44ページの総合福祉センター運営費のセンター施設維持費で体育館の屋根修理と聞いたが、どのような状態なのか。

●柴田福祉課長

総合福祉センターの南側にある旧東高の体育館だが、主な内容は屋根の雨漏り修理。雨漏りの原因は、雨樋が腐っていることであり、仮設足場を290平方メートルほどかけ、横

樋を35.4メートル取替し、縦樋を4カ所つなぎ合わせるといふ修理工事。この横樋を設置するには、上に笠木というものがあるが、その笠木を一旦取って横樋を設置後はめ込むという作業を行う。平成元年度に建設されており、23年経過ということで少しずつ補修が必要なところがでてきている。

第3款 民生費

〔高齢者支援課、説明 10:10～10:14〕

〔質疑 10:14～10:33〕

○堀内武治委員

桜木と下垂木に新しく高齢者福祉施設が建設されるということで建設事業に入っているが、そのことについての情報を持っているのか。

●平出高齢者支援課長

介護保険事業計画の中に直接入っているものではない。県の所管になり、県の介護保険課からの情報として、高齢者専用住宅であることは承知している。

○堀内武治委員

具体的に聞いていないが、第5期介護保険事業計画には入っていない施設だということはわかった。具体的に何ができるのか、行政側との関係はどうなっているのか、あるいは手続きがあるのか、市内に施設ができることについて我々が全く知らないのは不勉強になるので伺った。今の話だと住宅施設と言ったが、高齢者の福祉住宅ということなのか。

●平出高齢者支援課長

第5期介護保険事業計画であるのは、特別養護老人ホームや介護老人保健施設、介護療養型医療施設について、施設整備は市で責任を持って計画を立てていくが、それには入らないもので、今資料を持ち合わせていないので、後ほど提示させていただく。

○水野薫委員

46ページ6目、説明の3(2)老人クラブ育成事業費に関連で、対象年齢に対して老人クラブに加入している割合はどのくらいか。地域によってばらつきがあると思うが、これから高齢化時代に入ると老人クラブの位置づけが重要だと思うがいかがか。

●平出高齢者支援課長

平成23年度の会員数は10,290人、平成24年度は10,068人。かろうじて1万人を超している。単位老人クラブの数は、昨年は134、今年度131。役員のみ手が無いというようなことがあり、クラブ数、会員数も若干減ってきている。加入率は22年度は44%、23年度は41%、24年度は39%。老人クラブに入る会員資格は60歳以上だが、概ね65歳以上の方。65歳でもなかなか入る方がいないということで、役員は80歳くらいの方がしていて、若手会員加入が課題になっている。

○水野薫委員

10年くらいの経緯を見ると右肩下がりということで理解していいか。

●平出高齢者支援課長

そのとおりです。掛川市の老人クラブの加入率は県下の市の中では一番。町の中には川根本町や小さなところでは48%くらいの加入率だが、23年度が41%というのは群を抜いていい加入率である。

○佐藤博俊委員

加入率が多い方がいいのか少ない方がいいのか、どのように判断するか、教育長に伺う。

●浅井教育長

地域の団体であるので、多いほど地域が、まちづくりが活性化すると思う。

○佐藤博俊委員

教育長と同じ考えだが、このごろ日本の社会が絆という言葉が言われているが、まったく逆方向に進んでいて、個人の自由だ、自分が生きていけば自分でいいだという傾向にあるので、このようなことが私も間違っている、本来の日本はそんなことではなかっただろうと思っているので、促進策を今後検討していただきたい。

○山本行男委員

地元の老人会で地域の人たちと話すことがあるが、掛川が41%ということはいい方だということは正直びっくりした。いろいろ聞くと入ってくる人が少ない。人が集まらなくて趣味のクラブも消滅しているような傾向があると聞かすが、その中に生活面を含めてもそうだが、働く人が結構いる。その辺の実態を掴んでいるのか。

●平出高齢者支援課長

シルバー人材センターに入っている方達の平均年齢も71.2歳となっている。シルバー人材センターに加入する理由については、生きがいという面もあるが、年金も減っているということで生活のために働くということもあるので、老人クラブの加入率には足かせになるということは確かだと思う。

○草賀章吉副委員長

老人クラブ指導・育成は、どこでどのようにしているのか。県とか国の組織までつながっているものなのか。市老連があるが、それは市がアドバイスしたり方向性を指導したりしているのか。

●平出高齢者支援課長

老人クラブは、県の組織があり、その上には国がある。市老連についても会費を集め国、県に納めたりということがある。そのお金が分担金として老人クラブに戻ってくる。市ではお年寄りの生きがい対策という意味からも補助金は出している。市老連の運営については自分たちで行っているところもあるが、市では生きがい対策で社会福祉協議会と一緒に支援をしている。

○草賀章吉副委員長

いろいろ聞いていると老人クラブには課題があるが、解決能力が乏しいのか方向が見えないので、もっとしっかりした形にできればいいなと思うが、誰が決めていくのかと疑問に思う。その辺はどのように考えているか。

●平出高齢者支援課長

老人クラブの発端は任意の団体だと思いますが、市が保険者である介護保険からすると、介護予防の観点から地域包括ケアの推進など、老人クラブと市は支援をしたり、また地域の協力者であったり相互扶助の関係でもある。

○草賀章吉副委員長

最近、地域福祉という中では、老人だけでクラブを作って集まっているところに地域の福祉協議会のメンバーが入ってサポートすることが必要ではないかという声が出ている。何かいい形に持って行ってあげないと、なぜ新しい人が入らないかというと、役員にされそうだから入らないと。上は90歳以上の方がいてうまくいっているばかりではないので大きな課題だと思う。福祉協議会任せにしないで、踏み込んだやり方を考えてあげるべきだと思う。掛川市の老人クラブはこうありたいなということが何か出ていってもいいのではないかと思う。

○山本行男委員

関連で、例えば私は西山口エリアだが、そこは皆さんご存じのように地域福祉が活発。連携がうまくできていて、その団体をうまく利用しながら親睦も含めて、健康面や生きがい面、先進的にやっているエリアもある。地域によって温度差があるが、頻繁に事例でやっていった方がいいのではないか。そのことがイコール保険の費用が低くなったりすると思う。

●齋藤健康福祉部長

老人クラブ自体も時代が変わってきて、あり方が変わってくる部分があると思う。年齢的なことを言っても一口に老人クラブだが、年齢によっては親子ほど歳が違うので、趣味を多彩に持っている方、そうでない方、いろいろなことがあると思う。老人クラブという考え方も一つだが、地域福祉や住民参加、できることをやっていくという視点を入れて考えることが必要と思う。高齢者支援課だけではなくて、全体で考えていきたいと思う。

○佐藤博俊委員

重大な課題として高齢者の健康のためにお願いしたい。

第3款 民生費

[国保年金課、説明 10:34~10:36]

[質疑]

なし

第4款 衛生費

[保健予防課、説明 10:37~10:38]

[質疑 10:39~10:42]

○堀内武治委員

新病院アクセス道路の整備負担金は保健予防課が担当なのか。

●山崎保健予防課長

基金の積み立てを保健予防課の予算で担当しているので、繰入金についても保健予防課で行っている。

○草賀章吉委員

母子健康診査費、年間で1億1千万円だが、何人くらいの方が受けた額になるのか。

●山崎保健予防課長

妊婦健康診査、4ヶ月・10ヶ月の乳幼児健診、3歳児健診、1歳6ヶ月児健診の医師の派遣していただく委託料となっているが、主なものは4ヶ月・10ヶ月の乳幼児健診と、初回から14回までの妊婦の健康診査で、各1,000人位が受けている。

○山本行男委員

掛川市は、前年と子どもの出産は増えているのか。

●山崎保健予防課長

掛川市では出生率が減少するということがなくてほぼ横ばいでここ数年いっている。やや増える時もある。1,000から1,100くらいの推移と見込んでいる。

第3款 民生費

[幼児教育課、説明 10:43~10:45]

[質疑 10:45~10:53]

○水野薫委員

52ページの保育サービス推進支援事業費に関連して、仕事の関係で2年くらい愛知県にいて、最近こちらに戻った夫婦が桜木に住んでいるが、かつて保育園に子どもを預けていたが、子どもを預けるところが無いということで困ったということだが現状はどうなのか。

●松浦幼児教育課長

掛川市の待機児童の現状について、4月の当初から全体では70名ほどいる。それが11月だと全体で148名の方が待機している。その中でそれぞれの点数、例えば働いている状態、両親の状態、働いている時間帯を審査して順次入れている。年度当初からすでに待機している状態である。

○山崎恵司委員

待機児童対策として、定員を増やすことは考えているのか。

●松浦幼児教育課長

定員については、今回すこやかを改修することによって定員を40名増やすこと、市で直接できることをやっている。定員から120%まで入れるという状態もあるので、それについては私立の園に協力を求めているが、現実伺うと実際には手のかかる子がいるので現状では無理であり、なかなか定員を超えて入れてもらうことは困難な状態。まだ途中だが、人材バンク的なものを作って紹介しているが、まだ実際に利用するところは無いのが現状。

希望の丘に私立園ができればそこで定員が増えるということである。

各私立園も改修したりしてという状態は現実無い。掛川区域については幼保園化して大きな所を作ったので、この中でなかなか増築・改築は難しいというのが現状。

○堀内武治委員

認可外の6園について、具体的に名前を教えてください、認可外に入っている児童数は何名か。

●松浦幼児教育課長

認可外について、まず名称は「掛川みなみ園」、「きよさき保育園」、「きらきら保育園」、「大浜愛育園」、「掛川にじいろ保育園」、「キッズランドピッピ」の以上6園で、24年11月1日現在、定員は163名でその中に入所している人数は137名となっている。

○堀内武治委員

それ以外に認可外の方が定員を拡充したり、新設していく動きはないか。

●松浦幼児教育課長

認可外について、そういったことは聞いていない。

○堀内武治委員

認可外を十分活用していくことが、当面する待機児童解消に現実的に対応していくことになると思うが、認可外保育園に対する助成を拡充していくことをすべき。

第10款 教育費

〔教育政策課、説明 10:54～10:55〕

〔質疑 10:55～10:56〕

○水野薫委員

あの台風から随分経過しているが、このような場合、当然予算が付かないと執行できないので、そのままの状態でのいるのか。あるいは仮補修をしているのか。

●鈴木教育政策課長

工事は災害だったので事前着工の届けを出して着工している。防水シートなので期間をおけないということで工事は着工している。予算は既決の施設修理費にて実施している。

第10款 教育費

〔学校教育課、説明 10:56～10:58〕

〔質疑〕

なし

第10款 教育費

〔図書館、説明 10:58～11:02〕

[質疑]

なし

第10款 教育費

[社会教育課、説明 11:03~11:04]

[質疑 11:04~11:05]

○堀内武治委員

龍眠寺の歴代のお墓が並んでいるが、どこが倒れたのか。

●大川原社会教育課長

龍眠寺は、横須賀城の一番最後の城主だった西尾氏の墓塔があり、奥にたくさん並んで柵に囲まれている。倒木により柵と墓塔の上部が下に落ちて損傷した。

[討論]

なし

[採決]

議案第82号 平成24年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について
全会一致にて原案とおり可決

休憩 11:07~11:11

[11:11~11:16]

②議案第83号 平成24年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

[国保年金課、説明 11:12~11:15]

[質疑]

なし

[討論]

なし

[採決]

議案第83号 平成24年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
全会一致にて原案とおり可決

[11:16~11:20]

③議案第84号 平成24年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）に

ついて

[国保年金課、説明 11:16～11:19]

[質疑]

なし

[討論]

なし

[採決]

議案第 8 4 号 平成24年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 2 号）について
全会一致にて原案とおり可決

[11:20～11:25]

④議案第 8 5 号 平成24年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について

[高齢者支援課、説明 11:20～11:24]

[質疑]

なし

[討論]

なし

[採決]

議案第 8 5 号 平成24年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について
全会一致にて原案とおり可決

[11:25～11:32]

●平出高齢者支援課長

先ほど堀内武治委員からの質問について回答する。

サービス付き高齢者向け住宅というもので、所在が掛川市下垂木字新田。2013年 6月 1日からということで届け出されている。完成は来年 2月28日。登録の戸数は30戸。サービス付き高齢者向け住宅なので、日常生活相談及び支援、食事の提供をするというものである。

○山本行男委員

事業者は誰がやっているのか。

●平出高齢者支援課長

東京都港区にある株式会社ヴァティーンというところ。

○堀内武治委員

分譲みたいにするのか。

●平出高齢者支援課長

家賃を払っていくので分譲ではない。高齢者専用のアパートである。

もうひとつ12月 1日に県で指定をしているということで情報提供があったのは、茶話本舗静岡デイサービス下垂木の家、これは通所介護事業所（デイサービス）である。

○堀内武治委員

これも介護保険に適用しているのか。

●平出高齢者支援課長

介護保険適用である。

○堀内武治委員

どこが経営なのか。

●平出高齢者支援課長

静岡市にある株式会社シン・プレイスである。

○堀内武治委員

規模が小さいが、介護保険の事業計画には入っていないがパッとできていいのか。

●平出高齢者支援課長

こういったデイサービスについては、現在認可は県になっている。それも介護保険法に則っていれば、制度ビジネスという形になるので、指定は県からおりるということである。

[11:33～11:35]

⑤議案第95号 掛川市立保育所条例の一部改正について

⑥議案第96号 掛川市立学校設置条例の一部改正について

[幼児教育課、説明 11:33～11:34]

[質疑]

なし

[討論]

なし

[採決]

議案第95号 掛川市立保育所条例の一部改正について
全会一致にて原案とおり可決

議案第96号 掛川市立学校設置条例の一部改正について
全会一致にて原案とおり可決

4) 協議事項 [11:36~11:36]
閉会中継続調査申し出事項 6項目

閉会中継続調査申し出事項 6項目で了承

5) その他 [11:36~11:40]
小笠老人ホーム指定管理者候補者選定について（報告）
〔齋藤 健康福祉部長 説明 11:36~11:40〕

〔質疑〕
なし

6) 閉会 11:41

◎事務連絡・資料配付
13日の政策議会について資料配付、委員長より説明。
(11:45 解散)